



東京海洋大学

経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援
海外派遣キャリア演習プログラム

「海外探検隊」第7期生

(平成28年夏派遣) 募集要項



東京海洋大学 グローバル人材育成推進室
平成28年4月

○海外派遣キャリア演習プログラム「海外探検隊」について

このプログラムは、平成 24 年度に本学が採択された文部科学省「グローバル人材育成推進事業」の 3 大改革の 1 つと位置づけている。

プログラムへの参加を通じ、学生は以下に掲げる目標の実現を目指すこととする。

- 幅広い分野に関心を持ち、特に異分野とコラボレーションして、将来イノベーションを起こせる人材になることを目指す
- 異なる価値観や世界観を持つ人とのコミュニケーションをとる方法を学ぶとともに、異文化を理解し、良好な人間関係を構築する方法を体験学習する
- 国際市場で活躍するビジネスマンと交流し、ビジネスマナーやグローバルマインドを身につける
- 海外での生活や環境に適応する能力及び技術を獲得する
- 英語とともに派遣先の現地言語についても積極的に学び、コミュニケーションツールとして使える語学スキルを高める

1. 応募資格

- 2016 年度に東京海洋大学に所属する学部生であること
- 原則 TOEIC スコア 600 点以上であること。ただし、もし点数が足りない場合でも、今後積極的に英語力の向上に取り組むことを約束する場合、応募可とする。(ただし、TOEIC スコアが 600 点に満たない者は、渡航前までに英語学習アドバイザーのカウンセリングを受け、TOEIC 点数アップに向けた具体的な英語学習計画を提出すること)
- 現地では英語でコミュニケーションをとり、プレゼンテーションをする機会も数多くあるため、そうした状況下でもしっかりと準備をして、チーム一丸となって課題に取り組むだけの覚悟があること
- 派遣期間中の全日程に参加可能であり、心身ともに健康かつチームワークよく集団生活ができること
- グローバルな活動に意欲が高く、プログラムを充実させるために主体性を発揮することができること
- 保証人（保護者）に参加の同意を得ていること

注 1) TOEIC600 に満たない者は、出発前、もしくは帰国後に積極受験をして TOEIC 点数の推移をグローバル人材育成推進室に報告すること

注 2) 実習で参加できない派遣先がある場合でも申請可。フレッシュマンセミナー等の実習期間と重ならないよう、派遣先の選定時に配慮する。実習期間を「参加志望書」の指定欄に記載すること。ただし個人的理由は認められない。

注 3) 過去に応募して選抜されなかった学生の再応募を歓迎する

注 4) 過去に選抜された学生の 2 回目の応募も可とする。

2. 活動内容

(全プログラム共通)

- ① 現地の行政機関、企業やビジネスマンを巻き込んだオリエンテーションの実施
訪問先例：日本国大使館、日本貿易振興機構、日本商工会議所、科学技術振興機構
その他、外資系、日系、ローカル資本系企業、現地日本人駐在員、日本人会等
- ② 派遣国のパートナー大学との共同プログラムと位置づけ、現地の学生の参加を呼びかけることで、二国間の学生交流を深める（派遣国により交流内容は異なる）
- ③ 1ヶ月の最後に成果報告会及び感謝の会を実施するが、すべての内容は学生で企画・運営する

<派遣国別>

【香港プログラム】

香港プログラムの前半では、グローバルにビジネスを展開する食品・飲料関連の企業研修に参加する。プログラム後半は、香港島の最南端に位置する香港大学太古海洋研究所に滞在し、リサーチアシスタントとして研究活動を学ぶ。香港大学に在籍する多国籍な学生との交流がある。

【シンガポールプログラム】

シンガポールプログラムの前半では、各種企業訪問に加えて、養殖場を視察する。さらに、グローバルにビジネスを展開する飲料メーカーの企業研修にも参加する。プログラム後半は、シンガポール国立大学海洋科学研究所に滞在し、リサーチアシスタントとして研究活動を学ぶ。

【マレーシアプログラム】

マレーシアプログラムの前半では、バイオ燃料やエンジンメーカーの研究所研修に参加する。その他にも、国際協力機構の指導下で村おこし活動にも参加する。プログラム後半では、マレーシアサバ大学熱帯生物保全研究所に滞在し、リサーチアシスタントとして研究活動を学ぶ。

3. 派遣先・人数・派遣期間

派遣先	派遣人数	派遣期間(予定)
シンガポール	4名	2016年7月31日(日)～8月21日(日)
マレーシア	4名	2016年8月 3日(火)～8月24日(水)
香港	4名	2016年8月 6日(土)～8月26日(金)

4. 参加費用

派遣先	予想される経費の 総額 (渡航費・生活費・ 宿泊費)	渡航費補助及び奨学金（いずれも返済不要）	
		大学(同窓会)からの 渡航費補助 全員受給可 ※1	JASSO(日本学生支援機構) 奨学金、有資格者のみ ※2
シンガポール	約 30 万円	5万円から10万円程度、	10万円
マレーシア	約 25 万円		7万円
香港	約 25 万円		7万円

※1 東京海洋大学海洋科学部学術研究奨励基金（同窓会からの補助）

※2 下記の資格・要件を全て満たすこと

- ①日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者
- ②選考時の前年度成績評価係数が2.30以上であること（下記参照）
（2.00～2.29の学生に関しては場合により申請可、詳細は要相談）
- ③家計基準(世帯年収基準：詳細は要相談)

※ 渡航費補助及び奨学金は、両方の受給も可。

[成績評価係数の算出方法]

成績評価	優	良	可	不可
成績評価ポイント	3	2	1	0

(計算式)

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

注意) 総登録単位数には、登録して成績評価の付かない科目（出席不足、試験欠席等）を含むものとする。

5. 単位について

本演習は学部共通専門科目（2単位）である

6. 応募方法

(1) 提出書類

- 参加志望書（所定の様式）
- TOEICスコア表のコピー（IPも可）
- 成績通知書のコピー（成績証明書は不可）
- 面接時間調整表

※ JASSO「留学生交流支援制度」(奨学金)に申請する人は上記書類に加えて

- 世帯年収がわかる資料（源泉徴収表、所得証明書、確定申告資料等のコピー）

※ 参加志望書、面接時間調整表は、左のQRコードより、

グローバル人材育成推進室 HP (<http://www.kaiyodaiglobal.com>)

に入りダウンロード。



※ 原則として、応募書類は返却しない。

※ 応募書類で取得した個人情報は、今回の選考以外には使用しない。

(2) 派遣国について

※ 派遣国は本人の適性と志望動機及びプログラム内容との適合性を考慮して決定する

7. 応募締切

5月6日（金）13時

- ※ メール、郵送での提出ではなく、プリントアウトした書類を直接グローバル人材育成推進室に持参すること。
- ※ 書類に不備があった場合、受付は不可となるため、再度修正して期限内に再提出すること

8. 提出先

グローバル人材育成推進室（大学会館(生協)2F)

9. 選考方法、選考結果について

書類選考後、書類選考通過者に面接を行う。

書類選考の結果は、グローバル人材育成推進室より各自にメールで連絡。

面接を5月上旬に実施。最終選考結果は5月中旬に各自にメールで連絡。

10. その他注意事項

- 海外派遣にあたっては、本人・保証人(保護者)から誓約書の提出を求めるので、事前に保証人(保護者)に参加についての同意を得てから応募すること。
- 派遣期間終了後、海外派遣キャリア演習プログラムの学内外の広報及び、次期生募集のガイダンス等に協力すること。
- 活動記録として、ホームページや事業報告書等にプログラム実施中に撮影した写真を掲載する場合がありますことを了承すること。
- 選考された学生はオリエンテーション、危機管理セミナー、プレゼン研修、ビジネスマナー研修(複数回)、グローバルキャリア研究会参加、中国語研修(香港・シンガポール派遣者対象)またはマレー語研修(マレーシア派遣者対象)、に参加すること。なお、語学研修は各10回を予定。各研修は18時から19時半の時間帯に実施するので、アルバイト等の予定を入れないこと。各研修のスケジュールはグローバル人材育成推進室までお問合せください。
- 派遣先国にはノートパソコン、またはタブレットを持参。

※これらの事項を守れない場合、参加資格が取り消しとなる場合あるので十分に注意すること。

11. 担当教員

小松 俊明 グローバル人材育成推進室 教授

12. 問い合わせ先

東京海洋大学 グローバル人材育成推進室 ～ 大学会館(生協2F)

電話：03-5463-0816 (事務担当：佐藤) Email：global@m.kaiyodai.ac.jp

HP：<http://www.kaiyodaiglobal.com>